

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和8年5月13日

①学校名:	早稲田大学	大学(私立)	②所在地:	東京都新宿区戸塚町1-104	
③課程名:	スマートエスイーDXコース				
④正規課程/ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤定員:	30名	⑥期間:	6ヶ月
⑦責任者:	鷲崎弘宜 (早稲田大学理工学術院総合研究所 最先 端ICT基盤研究所・教授)		⑧開設年月日:	令和4年10月8日	
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>■コンサル・アントレプレナーの知識・技術として、ビジネスや価値とのつながりを徹底して教授</p> <p>■PBL(課題解決型学習)やゼミ形式によるDX計画立案を通して、実践的なアジャイルマインドや転移可能なスキルを習得</p> <p>■抽象化・構想力を養う「ビジネス領域」、活用・実践力を養う「アプリケーション領域」、データ分析力を養う「情報処理領域」、総合力を養う「総合実践領域」の4つの領域をカバーした科目群で構成</p> <p>■DXリテラシー標準に基づくDXの基礎スキルとマインド、ならびに、SFIAフレームワークに基づくDX専門スキルを体系化</p>				
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護	9 起業
	2 地方創生	4 DX ○	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理
⑪履修資格:	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 ・ビジネスの実務経験を有すること 				
⑫対象とする職 業の種類:	経営企画、営業・マーケティング、情報システム他、さまざまな分野で、現在または将来においてDXやデジタルビジネスの企画・立案・推進等を担うことが期待される立場にある方				
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) デジタル技術とDXの本質を理解する力				
	(得られる能力) これまでにない形で課題を解決して新しいビジネス価値やユーザ体験を作りだすことができる、DXおよびデジタルビジネスの企画・立案・推進力				
⑭教育課程:	<p>抽象化・構想力を養う「ビジネス領域」、活用・実践力を養う「アプリケーション領域」、データ分析力を養う「情報処理領域」、総合力を養う「総合実践領域」の4つの領域をカバーした科目群で構成</p> <p>「情報処理領域」「アプリケーション領域」科目によりDXリテラシー標準に基づくDXの基礎スキルとマインド、ならびに、SFIAフレームワークに基づくDX専門スキルを体系化。</p> <p>「DXビジネスゴール・戦略デザイン(必修)」をはじめとした「ビジネス領域」科目を通じて、コンサル・アントレプレナーの知識・技術として、ビジネスや価値とのつながりを徹底して教授。</p> <p>PBL(課題解決型学習)やゼミ形式によるDX計画立案といった「総合実践領域」科目を通して、実践的なアジャイルマインドや転移可能なスキルを習得</p>				
⑮修了要件(修了 授業時数等):	<ul style="list-style-type: none"> ・60時間以上の履修と各科目のレポート課題の評価C以上。 ・DXゼミにおけるレポート発表と審査。 				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	早稲田大学の履修証明書を発行				
⑰総授業時数:	102	時間	⑱要件該当 授業時数:	60	時間
			⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	59	%
⑱該当要件	企業等	○	双方向	○	実務家
				○	実地
				○	

⑩成績評価の方法:	各科目ごとにレポート、出席状況、代替課題の取組状況、授業態度等を適宜加味しながら総合的な評価を行う。
⑪自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。自己点検・評価の結果は本教育プログラムWebサイト (https://www.waseda.jp/inst/smartse/)にて公表する。評価結果は教育プログラム部会でのプログラム改善検討、および講師へ還元し教材の改定に役立てる。
⑫修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対してアンケート調査を実施し、就職およびキャリアアップの状況を確認する。
⑬企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 各科目の開発に企業が参画することにより教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。
	(自己点検・評価) スマートエスイー事業評価を行うための外部評価委員会(会議)において、第三者評価をすることにより、企業等の意見を反映させる。スマートエスイー・コンソーシアムの会議・部会に参画した企業等の意見を反映させる。
⑭社会人が受講しやすい工夫:	【開講時間】 土曜日の開講(9:00-16:30:4コマ)を基本とする 【開講場所】 オンラインを基本とし一部の科目を早稲田大学西早稲田キャンパスにて実施 【受講環境】 オンラインを基本とし、一部科目をオンサイトでも受講可能とするハイブリッド形式 【受講形態】 オンラインを基本とし、一部科目は対面の両方から選択が可能
⑮ホームページ:	https://www.waseda.jp/inst/smartse/

事務担当者名①	川島 治英	担当部署:	データ科学センター
事務担当者名②	-		
事務担当者 連絡先:	(電話番号)	03-3204-9164	
	(担当係E-mail)	cgs-staff@list.waseda.jp	
	(担当者①E-mail)	-	
	(担当者②E-mail)	-	

- * パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- * 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。

(様式2)

授業科目の概要について

学校等名:	早稲田大学	要件該当授業時数:	60 時間
課程名:	スマートエスイーDXコース	要件該当授業時数/総授業時数:	58.8 %

分類	No	科目名	配当年次	該当時数/授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	1	D01 DXゼミ		6 / 6	○	○	○	○	鷲崎 弘宜	早稲田大学理工学術院
									鄭 顕志	東京科学大学
									岡崎 正一	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
									野々村 琢人	西川・日本睡眠科学研究所
									野村 典文	早稲田大学ゴール指向デジタル戦略研究会、周南公立大学
									小林 浩	株式会社SI&C
									吉岡 信和	QAML株式会社
									山戸 昭三	早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所
									安楽 啓之	インフォテック株式会社
									奥野 拓也	NTTテクノクロス
必修	2	D02 アジャイル・ビジネス検証		6 / 6	○	○	○	○	土肥 拓生	株式会社Magic Moment
									野村 典文	早稲田大学ゴール指向デジタル戦略研究会、周南公立大学
必修	3	D03 AIビジネスゴール・戦略デザイン		12 / 12		○	○	○	山本 修一郎	名古屋国際工科専門職大学
									堤 孝志	スタートアップ・ブレイン株式会社
選択必修	5	D05 SXビジネスモデル仮説検証		12 / 12	○	○	○	○	井口 誠	Kii株式会社
選択必修	6	D06 AIセキュリティ・リスクマネジメント		6 / 6		○	○	○	吉岡 信和	QAML株式会社
									増田 航太	株式会社SI&C
選択必修	8	D08 機械学習工学		12 / 12		○	○	○	吉岡 信和	QAML株式会社
									鷲崎 弘宜	早稲田大学理工学術院
									内平 直志	北陸先端科学技術大学院大学
選択必修	9	D09 データ科学・ビジネスインテリジェンス		12 / 12	○	○	○	○	坂本 一憲	WillBooster株式会社
選択必修	10	D10 AI基礎		6 / 6	○	○	○	○	奥野 拓也	NTTテクノクロス
									増倉 孝一	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
選択必修	11	D11 デジタル経営		6 / 6		○	○	○	山戸昭三	早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所
選択必修	12	D12 ノーコード		6 / 6		○	○	○	吉田 将明	株式会社クレスコ
選択必修	13	D13 サステナビリティ・DXと生成AI		12 / 12	○	○	○	○	奥田 聡	株式会社プライムスタイル
合計:		12 科目							総授業時数:	102 時間

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。

スマートエスイーDXコース 概要資料

■特徴

スマートエスイーはイノベティブ&DX 人材を育成する AI・IoT・ビッグデータ技術分野のビジネススクールとしての社会人学び直しプログラムであり、DX コースは、DX やデジタルビジネスの企画・立案・推進等を担うデジタルビジネスデザイナーといった、DX 中核人材を育成することを目的としている。

■目指す人物像

デジタル領域全体とDXの本質を理解し、新しいビジネスや業務体系のDX推進を主導できる人材

■受講対象者

経営企画、営業・マーケティング、情報システム他、さまざまな分野で、現在または将来においてDXやデジタルビジネスの企画・立案・推進等を担うことが期待される立場にある方

■開講科目

13科目（必修3科目）

■4つの領域

本コースには下記4つの領域があり、それぞれに座学に演習を交えて実践的に学ぶ。

1) 総合実践領域

すべての領域を総合したチーム演習であるアジャイル・ビジネス検証と個人で実課題に取り組むDXゼミを必修とし、DX推進に不可欠な抽象化・構想力、活用・実践力、データ分析力のすべてを総合的に発揮できる総合力を習得する。DXゼミは所属企業の実課題の持ち込みを推奨し、講師の指導下において課題解決に向けて実践的に取り組みを行う。

2) ビジネス領域

ビジネスに関する様々な手法、ツールをDXの視点から活用することを演習を通して学び、DXの背景や価値創造マインドを習得し、総合実践領域における実践と合わせることでデザイン思考・アジャイル、および、デジタル戦略・イノベーション・投資、デジタル文化・スキル・能力領域の専門スキルを習得する。

3) アプリケーション領域

セキュリティや迅速かつ効率的なアプリケーション開発を学び、デジタル技術の活用・ツールと留意点を習得し、総合実践領域における実践と合わせることでデジタル技術の実現要因の専門スキルを習得する。

4) 情報処理領域

デジタル技術の基礎となるデータサイエンスを中心に扱い、データとデジタル技術を習得し、総合実践領域における実践と合わせることでデジタルとデータの変換・変更・ガバナンス領域の専門スキルを習得する。

DXコース詳細 https://www.waseda.jp/inst/smartse/curriculum_dx/certificate

以上